

新しい扉を開く

成長と持続のバランスをととのえる一年に



2026-27年度 地区運営方針

ガバナー 平野 洋一

2007年8月2日 福井ロータリークラブ 入会
2017-18年度 会長

平野純薬株式会社 代表取締役 会長
真晃ELS株式会社 代表取締役
株式会社エイチアンドケー 代表取締役
株式会社 クレハ 代表取締役社長
(平野グループ 代表)

【地区】

2022-23年度 国際交流委員会 委員
2024-25年度 福井第1グループ担当ガバナー補佐

【寄付関係】

ロータリー米山記念奨学会 米山功労者第10回メジャードナー
ロータリー財団 メジャードナー



平野 洋一

2026-27年度国際ロータリー会長メッセージ

**CREATE
LASTING
IMPACT**

Rotary 

持続可能な
インパクトを
生み出そう

トランス・アマディ・ロータリークラブ
ナイジェリア・リバーズ州



オラインカ・ハキーム・ババロラ

持続可能なインパクトを生み出そう：2026-27年度ロータリーのビジョン

自分を変え、世界に持続的なインパクトをもたらす。

① 変化は始まり、インパクトは持続



一時的な「変化」にとどまらず、次世代まで恩恵が続く「インパクト」を重視します。

② まずは自分自身の内なる変革を



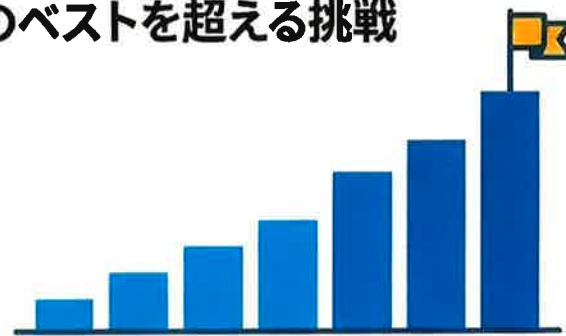
自分が変わることでクラブや地区が変わり、それが地域社会や世界を変える原動力となります。

③ 「世界をオープンに」受け入れる



若い世代や異なる背景を持つ人を心から歓迎し、誰もが居心地のよい環境を整えます。

④ 過去のベストを超える挑戦



過去の成功に満足せず、募金やプロジェクトでさらなる高みを目指し続けます。

ナイジェリアの事例：プロジェクトのアプローチ

課題の解決から、永続的なインパクトの創出まで

ステップ1

課題



多くの女性が
妊婦健診を避
けていた。

ステップ2

介入



ロータリーが健
診に通うシステ
ム作りを支援

ステップ3

成果



受診率がアップ
し死亡率が低
下

ステップ4

インパクト



数十年にわたる
命を救い続ける
永続的システム

成長と持続の調和

課題

成長



人口構造の変化、
高齢化、活動格差



持続

解決策

地区とクラブの
循環型成長モデル

“今を変えることで、未来が変わる。”



参加するほど、面白さが分かる

地区活動は「役務」 × 「学びと成長」の場 ○

ロータリーの根幹は「クラブの力」。活力の源泉は「会員の情熱」。

目指す姿: **辞めないロータリー**

3つの重点目標



1.参加と育成
地区活動への参加拡充と人材育成



2.会員増強
最重要課題への取り組み

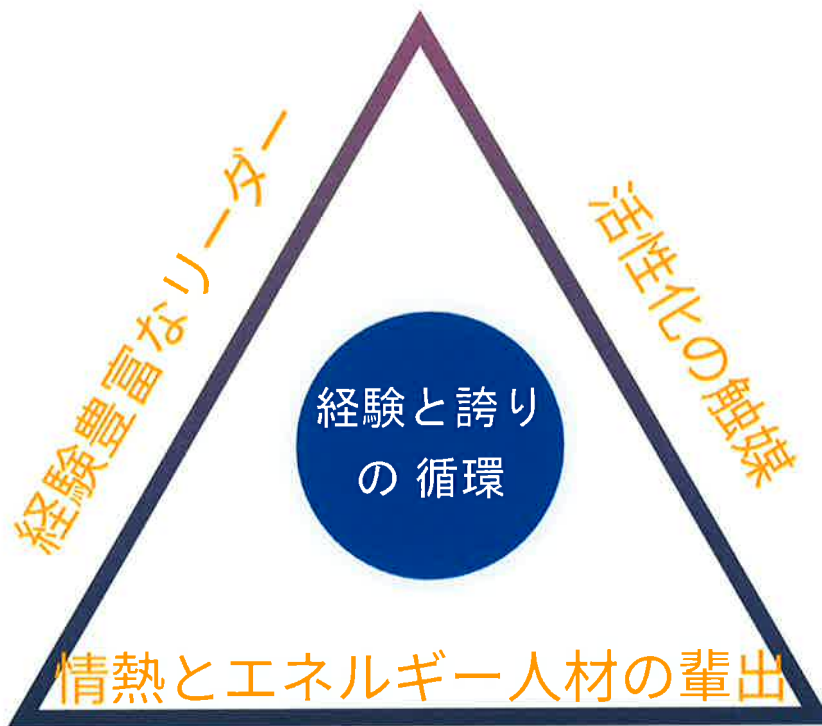


3.財政と支援
健全化と小規模クラブへの支援

1.参加と育成

地区活動への参加拡充と人材育成

国際ロータリー (RI)



地区

学びの場・視点の拡大
⇒リーダー覚醒

新しいリーダーの育成



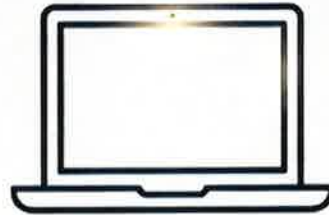
クラブ
活力の源泉
⇒奉仕拡大

仕組みを変える:人材・予算・時間の最適化



任期制限

委員長の任期は
最長3年



参加障壁の低減

オンライン活用、
1委員会につき
各クラブ1名



継承

委員長予定者ラーニング
セミナーの実施

2. 会員増強

最重要課題への取り組み

世界のロータリー

5%減

120万人⇒115万人
(微減にとどまる)

日本

37%減

13.0万人⇒8.2万人
(世界最大の減少率)

第2650地区

37%減

6700人⇒4280人
(日本全体と同じ減少率)

2030年の目標

2030年目標



目標達成の為に、全てのクラブと地区において

>>> 迎え入れる姿勢が不可欠

この現実を直視し、流れを変える必要があります。

私たちは「世界で最も会員が減少している地域」にいます。

最重要課題：会員増強

「増」やすだけでなく、「強」くする

- ▶ 委員会横断型連携
- ▶ 「新会員が新会員を増やす」文化の醸成
- ▶ 公共イメージ向上 → エンゲージメント向上

国際ロータリー第2650地区
 地区委員会組織について
 地区委員会組織について



2025-26年度	
諮問委員会	
戦略計画委員会	
地区ガバナー指名委員会	
地区ガバナー補佐指名委員会	
ロータリー希望の風奨学金特別委員会	
地区災害対策基金特別委員会	
地区ラーニング委員会	
規則・手続委員会	
財務委員会	
RLI委員会	
ロータリー情報委員会	
会員増強委員会	
職業奉仕委員会	
社会奉仕委員会	
国際奉仕委員会	
地区ロータリー財団委員会	
財団資金推進・大口寄付委員会	
ポリオプラス・ロータリーカード委員会	
地区補助金委員会	
グローバル補助金委員会	
財団奨学金・平和フェローシップ委員会	
財団資金管理委員会	
危機管理委員会	
学友委員会	
青少年奉仕委員会	
RYLA委員会	
インターアクト委員会	
青少年交換委員会	
ローターアクト委員会	
米山奨学委員会	
公共イメージ委員会	



2026-27年度	
諮問委員会	
戦略計画委員会	
地区ガバナー指名委員会	
地区ガバナー補佐指名委員会	
ロータリー希望の風奨学金特別委員会	
地区災害対策基金特別委員会	
地区ラーニング委員会	
規則・手続委員会	
財務委員会	
RLI委員会	
ロータリー情報委員会	
会員増強委員会	
職業奉仕委員会	
社会奉仕委員会	
国際奉仕委員会 ※国際大会を含む	
地区ロータリー財団委員会	
財団資金推進・大口寄付委員会	
ポリオプラス・ロータリーカード委員会	
地区補助金委員会	
グローバル補助金委員会	
財団奨学金・平和フェローシップ委員会	
財団資金管理委員会	
米山奨学委員会	
青少年奉仕委員会	
RYLA委員会	
インターアクト委員会	
青少年交換委員会	
学友委員会	
危機管理委員会	
ローターアクト委員会	
公共イメージ委員会	



TARGET

若手経営者・専門職 / ロータリアンのご子息世代



人材育成



育成型クラブ

衛星クラブ



新たな入口



学びの場



独立クラブ創出

目標：ガバナー補佐担当クラブ内で1クラブ以上の設立

GOAL

3.財政と支援

健全化と小規模クラブへの支援

地区の未来を創る：財政健全化とクラブ支援の相乗効果

地区財政を最適化し、クラブの活力を最大化する





小規模クラブへの 「共感」と「支援」

財政健全化と小規模クラブ支援は
表裏一体

削減分を分担金に反映

Goal: クラブ規模に関わらず、
参加しやすい環境を作る

少幼のふぱざく ニ論ゑ〔ふ洩束

軋疔は壺瑩” 績ほ寛懐
ずはぶく脩哎” 仰懐だをずは)

ヤエケ桂絢・始害斌摯ふ
瑣増” 砒を

ヴロテエロこ禎恨” 匝げそ
ねかを



行動目標

年次基金 ————— \$180/ member

ポリオプラス ————— \$30/ member

米山奨学会 ---¥24,000/member

希望の風奨学金---¥5,000/member

推進:ポール・ハリス・ソサエティの増加

3-Year Rolling Goals



一貫性のある、持続可能な地区運営

2026-27年度 総括

会員増強

参加拡充と
人材育成

財政健全化

新しい扉を開く



ともに、新しい扉を開きましょう。
「学び」「育て」「つなげる」ロータリーへ

2026-27年度 国際ロータリー第2650地区